

配点 (1) 5点 (2) 8点 (3) 10点 (4) 12点 (5) 5点

解答例

(1) $\triangle APO$ と $\triangle AQO$ について、

$$\angle APO = \angle AQO = 90^\circ \dots\dots ①$$

$$PO = QO \dots\dots ②$$

$$AO \text{ は共通} \dots\dots ③$$

ゆえに、2辺が同じ長さの直角三角形なので合同である。

よって、 $AP = AQ$

(2) (1)から、 $AP = AS$, $BP = BQ$, $CQ = CR$, $DR = DS$ である。

$$\text{よって、} AB + CD = AP + BP + CR + DR = AS + BQ + CQ + DS$$

$$= BQ + CQ + DS + AS = BC + DA$$

(3) $\triangle MAB = \frac{1}{2}\triangle BCA$, $\triangle MCD = \frac{1}{2}\triangle DAC$. よって、 $\triangle MAB + \triangle MCD = \frac{1}{2}(\triangle BCA + \triangle DAC) = \frac{1}{2}S$

(4) 同様に、 $\triangle NAB = \frac{1}{2}\triangle ABD$, $\triangle NCD = \frac{1}{2}\triangle CDB$. よって、 $\triangle NAB + \triangle NCD = \frac{1}{2}S$

$$\triangle TAB + \triangle TCD = \triangle THE + \triangle THF = \frac{1}{2}S$$

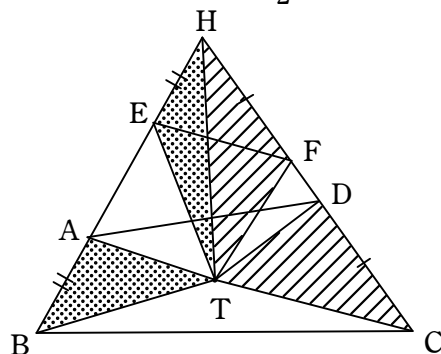
$$\text{よって、} \triangle HEF + \triangle TFE = \frac{1}{2}S$$

$$\text{すなわち、} \triangle TFE = \frac{1}{2}S - \triangle HEF \text{ (一定)}$$

ゆえに、 T は線分 EF と平行な直線上を動く。

もちろん点 M , N もその直線上にあるから、

T は直線 MN 上を動く。



(5) (2)から、 $\triangle OAB + \triangle OCD = \triangle OBC + \triangle ODA = \frac{1}{2}S$

よって、(3)から、 O は直線 MN 上にある。

講評

ニュートンの定理を問題化したものでしたが、厳密には点 M , N が一致する場合なども考えないといけません。メインは(4)のところですが。こちらをしっかりと解いてくれたのが、新藤君 (札幌南2年), 難波君 (旭川東1年), 紺田君 (室蘭栄2年), 浜田君 (室蘭栄2年), 栗原さん (札幌西1年), 森君 (函館中部1年) の6名です。今回は、(1)~(3)が得点できた人が多く、40点満点中23点の人がダントツ多かったです。1年生は来年も是非受けてみて下さい。

(北海道札幌開成高等学校 古川政春)